

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

泥亀地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

担当地域は、金沢区の中心に位置する圏域で、主要駅である金沢文庫駅から南東に平潟湾に面した市街地と野島を含む金沢地区、海の公園に面し、称名寺を含む金沢南部地区、同駅を中心とした京浜急行と国道 16 号線に沿った形で広がる金沢中部地区の 3 地区です。

金沢八景のうち四景を有する景勝地で、いまでも平潟湾を行き来する釣り船や、野島では自然海浜を見ることができ、市内でも少ない漁港がある一方で金沢文庫や称名寺などを有する歴史的にも由緒ある地区です。

そして古くからの戸建住宅に大型マンションや団地等が混在しています。また、緩やかな人口減少があり、15 歳から 64 歳の方々の転出がみられています。高齢化率などは地区ごとに違いますが、65 歳以上の高齢者がいる世帯が増え、特に高齢者世帯の増加がみられ、今後は 75 歳以上の高齢者の増加が続くと考えられています。

課題としては、現在もお祭りや行事が活発に行われていますが、さらに世代を超えた住民同士のつながりや顔の見える関係づくりが求められています。

また、地域ケアプラザから遠方になる地域では講座参加や相談に来にくいといった状況があります。そのような地区や民生委員の不在の地区では孤立死や虚弱者の重症化ということにもつながりやすいと考えられます。そして地域での活動の今後の継続や発展のために、担い手となる人材への支援も考えられます。

それらの課題を踏まえ、今年度は 5 年目となる第 3 期地域福祉保健計画（区計画・地区別計画）の推進に向け、地域支援チームとして地域ケアプラザとしても後方支援を行いました。潜在化した個別のニーズの発見の機会を増やし、地域のニーズを把握し、地域の特性に合わせた地域福祉活動を行いました。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢をはじめ、子ども・障がい分野も含めた総合的な相談窓口として、電話・来所または訪問でのご相談をお受けし、適切な窓口をご紹介するなどの情報提供及び支援を行いました。地域の気軽な相談窓口を目指しました。必要に応じ、区役所や関係機関とも連携しながら対応しました。窓口には、ご相談に活用できるよう、各種資料を整備し、適切な情報提供を行いました。

また、直接のご相談以外にも、地域ケアプラザの事業や地域での出前講座や会合等への参加を通して広報・啓発活動を行い、相談受付・情報提供の機会を設け、ニーズを発掘していきました。地域の相談内容を把握し、課題に即した事業展開をしていきました。同時に、各事業を通して関係機関との連携を深めました。

相談に対応するため、職員は研修参加や情報収集を行い、新しい知識の集積に努めました。

(2) 各事業の連携

地域活動交流事業担当、生活支援体制整備事業担当、地域包括支援センター担当の5職種が協働で多くの事業を実施しました。ともに関わることで課題を共有し、個別支援やさらなる事業の展開を進めていきました。

また、ともに地域に出向き、地域状況の把握に努めました。地域の状況を職種の異なる立場から捉えることで、必要とされる地域支援に取り組みました。

所内での朝礼や定期的な5職種会議、職員会議で情報の共有や意見交換を密に行いより一層の連携に努めました。事業の計画・報告等は書面にて回覧し、常時閲覧できるよう情報の共有化を図りました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

地域包括支援センター、地域活動交流、通所介護、介護予防支援事業、居宅介護支援事業など、それぞれの専門職に必要な資格要件を満たした職員を、人員配置基準に従って適正に配置しました。常勤職員を全て正規職員とし、法人単位で育成プログラムを作成し、職員の努力と熱意に応える体制をとっています。通所介護事業ではサービスの質の向上を図るために、法定人員配置基準を上まわる人員を配置しています。

またそれぞれの専門分野に限らず、総合的で多様な問い合わせなどにも対応できるように、各職種の連携を強化し、職員の育成に努めていきました。

職員としての階層的な育成のため、階層別研修も行われており、新人研修、中堅リーダー研修、管理職研修等も実施していきました。法人では計画的に中堅職員等に講師を経験させるなど、職員のレベルアップに繋がっています。

また、地域ケアプラザは公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対し公正中立な立場で業務にあたりました。地域包括支援センターで「事業所の選択」に係る相談を受けた場合は事業所一覧を提示し、複数の選択肢があることを知る機会を設けています。そして相談者の個別の状況に配慮し、相談者の意思を尊重しました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

地区社会福祉協議会、町内会、民生委員・児童委員協議会、老人会、サロンなど地域の関連団体の会合や事業に参加して、情報交換を行い、顔の見える関係の構築と連携強化に努めました。

地域ケアプラザ5職種と地域の有志等（区、第1層の生活支援コーディネーター、サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域の方々、医療機関）で構成されている「つながりの輪」で、今後も定期的に話し合いを進め、多方面からの意見により地域課題を抽出し、地域づくりの話し合いを行うネットワークとして進展させていきました。

区と連携して、子育て支援関係者や当事者とのネットワーク構築のために「いきいき子育て連絡会」を開催しました。

地域の関係団体（地区社会福祉協議会、町内会、老人会及びサロンなど）に出張し、講演会・説明会などを開催するほか、啓発活動・ボランティアの派遣などにより地域の方との信頼関係を構築していきました。

また、「サロン支援者交流会」を開催し、支援者同士の交流や活動の支援を行いました。

民生委員・児童委員協議会、地域の関連団体（子育て支援、災害、障がい者支援団体）の定期的な会合に参加し、積極的な情報交換を行ないました。

(5) 区行政との協働

区役所、区社会福祉協議会とともに地域支援チームとして、地区別地域福祉保健計画の推進のために地域の取り組みを支援していきます。

区域の地域福祉保健計画の推進にも添いますが、地域に出向いて、介護予防や認知症等の啓発、ケアプラザ事業の周知に努めるとともに、地域と連携し事業の実施や関係団体の活動に対して必要な支援を行っていきます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

地域の状況等に合わせて、子育て支援、障がい児者支援、地域交流等さまざまな事業を実施・継続しました。地域に出向き、関係団体等と協働で事業を行い、地域の中で継続できるよう取り組んできました。

事業実施にあたり、目的や期待する効果などを明確にし、事業実施後にはアンケート等で参加者意見や課題を明確にし、評価と振り返りを行い、事業の継続や次年度の事業に反映していきます。

事業参加者に他の事業や地域の活動やボランティア活動等を紹介し、交流、活動の場が広がるように行ってきました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

福祉保健活動団体が快適かつ安全で、効率的で公平な施設利用ができるよう、できるだけ併設の金沢区福祉保健活動拠点と協働で活動の場の提供に取り組みました。利用登録団体を対象に金沢区福祉保健活動拠点と共催で、利用に向けて情報交換、意見交換、またはそれぞれの活動が継続されるような研修等を含めて利用調整会議を実施しました。利用に関しては公平性を保つことから毎月1回の貸室抽選会、年1回のロッカーやメールボックスの抽選会を行っています。

ケアプラザの広報紙や地域のさまざまな会合等を通して貸館事業についての周知を図り、利用につなげてきました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

自主事業から発展したグループ（食事サービスボランティアグループやコーヒーボランティア、うどん作りボランティア、講座から立ち上がった工作等のボランティアグループ）がボランティアとして継続した活動やさらに自主的な活動となるよう引き続き支援しています。また、活動中のボランティアに対して、意見交換の場の提供やモチベーションのさらなる向上・スキルアップのためのデイサービスボランティア交流会やボランティア感謝会を開催しました。

また、ボランティア講座を開催し、ボランティア活動につなげました。さらに、得意なことや関心のあることを活かした活動の場を提供しました。貸室登録団体等にもボランティア活動の場の紹介や提供を行っています。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域での様々な団体等の活動や会合に積極的に参加し、福祉保健活動等の情報収集、実態把握に努めるとともに情報提供を行いました。出前講座や会合など、機会のあるごとに福祉・保健等の情報提供、ケアプラザの機能や事業等の周知をしました。広報紙「すこやかでいき」の年4回発行、ホームページ、区の広報等を随時活用して福祉保健の情報発信の他、自主事業のチラシなどで積極的にPR活動を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

平成28年度より地域ケアプラザの5職種と地域の有志（区役所、1層生活支援コーディネーター、サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域のボランティアさん）で開催している『つながりの輪 この指と～まれ』から『体験！男性アレコレ講座』としてスポーツ吹き矢や網戸の張り替え講座など男性の興味のある講座を全6回コースで開催し、講座の中からプロジェクトを立ち上げました。

・28年度から始まっている【わかか】はボランティアさんの協力を得て今年度も年間11回開催しました。

・平成30年度は、地域の男性を呼び込もうとし“男性コグニサイズ”の入門講座を開催し、その後自主化し「ますらお」と名付け月2回活動を継続しています。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

・生活支援体制整備事業ができてから2年間で把握したあらゆる情報を5職種で協力して法人作成の地域アセスメントシートへ反映させ地域資源の把握・分析を深めていきました。

・平成29年度に横浜市で始まった地域活動・サービスデータベースシステム ayamu を活用して地域資源の把握に努めました。

(3) 連携・協議の場

平成 28 年度から始まり継続している『つながりの輪 この指と～まれ』の話し合いを 5 職種と新しいメンバーを加え、男性講座へ繋がるよう協議の場として年間に 5 回開催しました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

毎月定例で行われている金沢区生活支援コーディネーター連絡会において、区役所、区社協、区内の他のケアプラザの 2 層生活支援コーディネーターと情報を共有し、区域において新たな取り組みが出来るように話し合いを進めていきました。

法人の専門職会議にて他区的生活支援体制整備事業の事例についての事例集を作成しました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

地域に暮らす高齢者等が安心して生活出来るよう、区役所をはじめとする関係機関、地域の様々な社会資源が有機的に関わり連携していけるよう情報共有の機会を設け、3 職種並びに生活支援担当や地域活動交流担当が協力して、より効果的な事業展開を推進しました。

地域ケア会議の開催、地域福祉保健計画の推進に向けた地区推進連絡会への参加等地域包括ケアシステムの醸成を意識した、ニーズの発見、相談支援、社会資源の発掘・創出の好循環に繋がる包括的なネットワークづくりに努めました。

② 実態把握

ご相談や地域のネットワークを通して、地域の高齢者等の心身の状況や生活環境を把握し、様々な内容について総合的かつ迅速に相談・対応できる仕組みを築くよう努めました。5 職種連携はもとより、関係機関との連携を通して各種制度やインフォーマルサービス等の把握に努め、情報提供を行いました。

- ア 必要に応じて、個別訪問による状況確認を行い、実態把握に努めるとともに、適切な支援を行うよう努めました。
- イ 地域に出向いて『困った時にはまず相談』をキャッチフレーズに広報・啓発活動を実施しました。地域活動から個別相談への繋がりも視野に入れ活動しました。
- ウ ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業においては、行政、地域関係者と協力し合い 75 歳以上の独居高齢者の実態把握に努め、必要な支援に繋げていきました。
- エ 地域ケア会議を開催し、その機能を活かし個別レベル、包括レベルでの実態把握に努めました。

③総合相談支援

ご相談や地域のネットワークを通して、地域の高齢者等の心身の状況や生活環境を把握し、様々な内容について総合的かつ迅速に相談・対応できる仕組みを築くよう努めました。5職種連携はもとより、関係機関との連携を通して各種制度やインフォーマルサービス等の把握に努め、情報提供を行いました。

- ア 必要に応じて、個別訪問による状況確認を行い、実態把握に努めるとともに、適切な支援を行うよう努めました。
- イ 地域に出向いて『困った時にはまず相談』をキャッチフレーズに広報・啓発活動を実施しました。地域活動から個別相談への繋がりも視野に入れ活動しました。
- ウ ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業においては、行政、地域関係者と協力し合い 75 歳以上の独居高齢者の実態把握に努め必要な支援に繋げていきました。
- エ 地域ケア会議を開催し、その機能を活かし個別レベル、包括レベルでの実態把握に努めました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

総合相談などを通じ把握した要支援高齢者等が、その人らしい尊厳ある生活を維持し、安心して生活できるように専門的・継続的な視点から支援を行いました。また、各種制度や相談窓口等の周知・利用啓発のために積極的な活動を行いました。

- ア 権利擁護の観点から成年後見制度の普及・啓発のために、説明会や個別相談会を行いました。専門的な相談窓口を身近な場所で提供する機会としました。
- イ 金沢区成年後見ネットワーク事業連絡会・事例検討会と、新たに市民後見人の活動支援を目的とした分科会に参加し、関係機関との連携を更に深めると共に、専門性の向上に努めました。
- ウ 地域活動交流担当とも連携しながら、様々な事業で権利擁護に関する要素を取り入れ、情報提供を行いました。
- エ 金沢区あんしんセンターと協力し、高齢者だけでなく障がい者も対象として取り組みました。
- オ 消費者被害防止のために、横浜市消費生活総合センターと連携をとり、支援を行います。また随時、消費者被害に関する相談窓口の周知も行いました。
- カ 悪質商法被害のご相談が増えている現状を受け、注意喚起チラシ等を作成し、掲示板への掲示・地域への回覧・介護保険事業者への周知・事業を通じての注意喚起を行い、地域の方へ注意を促しました。関連情報の広報紙掲載等を行いました。
- キ 金沢警察署生活安全課や横浜市消費生活センターに協力を仰ぎ、消費者被害防止のための最新情報の収集や普及啓発グッズを活用する等、注意喚起の工夫に努めました。
- ク 金沢区地域包括支援センター社会福祉士部会として、地域に向けた情報発信等区域での啓発にも取り組んでいきました。

②高齢者虐待への対応

地域住民・民生委員・ケアマネジャー・関係機関等が気軽に情報交換や相談ができる顔の見える関係を作り、虐待予防や早期発見に繋がるよう努めました。また、虐待者・被虐待者双方への支援を行っていききました。

- ア 介護負担等を気軽に話し合える『ほっとタイム』を開催し、介護者の支援を行いました。
- イ 虐待が疑われる場合には、ネットワークミーティングを開催し、関係者間で情報を共有しながら支援を検討しました。また、区役所とも密接な連携をとり、関係者と共に対応しました。
- ウ ケアマネジャー等の支援者へ、虐待に関する情報提供や相談窓口の周知を行いました。
- エ 金沢区地域包括支援センター社会福祉士部会として、専門性の向上、普及啓発等について区との連携し、区域で取り組みました。

③認知症

認知症に関する個別相談支援を行うとともに、各種事業を通じて、認知症への理解や対応方法についての周知・啓発活動を行いました。

- ア 個別相談では、介護者の話を傾聴しながら、ご本人の生活をより良くするための支援方法や情報を提供しました。
- イ 地域のキャラバンメイトやボランティアなどと連携を図り、地域住民等へ出前講座や認知症サポーター養成講座等を行いました。
- ウ 金沢区はいかひ SOS ネットワークの協力機関として、行方不明になった認知症高齢者の捜索に協力しました。また、ネットワークの円滑な運営に協力していききました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ア 民生委員とケアマネジャー、各関係機関との連携を深めていくためケアマネジャーネットワーク構築支援会議を開催し情報交換を行い、地域との連携を強めました。
- イ 地区民生委員児童委員協議会、町内会、老人会等に出向き、介護保険制度の説明や地域包括支援センターの役割を紹介し活用を促した。また地域の情報を収集してケアマネジャーとの連携支援に繋げました。
- ウ 日頃より地域に出向き、地域の方々と顔を合わせ、顔の見える関係を築くことで相談しやすい状況ができるよう努めました。
- エ NPO 法人「こころの電話金沢」の定例会に出席し情報共有を行い、事業に関連する地域住民の把握やインフォーマルサービスの依頼を行い連携しました。

②医療・介護の連携推進支援

- ア 医療とケアマネジャーの連携が円滑に行えるように、金沢区医師会・薬剤師会・医療関係者・ケアマネジャーと情報交換会を各組織と共催して開催し、地域包括ケアを見据えたネットワーク作りを行いました。
- イ 地域の相談窓口である包括支援センターと地域の病院ソーシャルワーカーとの連携を強め、在宅に戻る際の体制づくりを円滑に行えるような関係を作りました。
- ウ 地域ケアプラザ協力医とも連携を深め、相談対応を行いました。
- エ エリア内の医療機関との良好な関係を作り、医療と介護の連携が深まり地域支援が円滑に進むよう努めました。
- オ 金沢区在宅医療相談室と連携し、医療や歯科の勉強会の開催や個別支援を行いました。

③ケアマネジャー支援

- ア 地域のケアマネジャーと関係機関との顔の見える関係を築けるように、情報交換や研修の場所を設け、また包括の情報発信の情報紙を作成し、配布しました。
- イ ケアマネジャーのスキルアップのため、近隣の包括や区内9包括が合同により事例検討会や研修会を開催するとともに、新任ケアマネジャーや主任ケアマネジャーに対してスキルアップを図るべく勉強会の開催や情報を発信し、ケアマネジメントの質の向上につながる支援を行いました。
- ウ 地域包括ケアを見据えた支援を進める努力をしました。
- エ 支援困難事例に対しては、相談だけでなく同行訪問やカンファレンス開催支援等を行い、個々のケアマネジャー支援を行いました。
- オ 常に気軽に相談できる環境を整え、包括内でも情報収集、支援チームで動ける体制作りをしました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

他職種の協働による地域包括支援ネットワークは、以下の活動を組み合わせ複合的に推進しました。

- ア 地域福祉保健計画の推進に向け、地区推進連絡会の地域支援チームの一員として区役所・区社会福祉協議会等と連携・協働し、意見交換等を行いました。
- イ 地域課題の解決に向け、地域ケア会議を開催しました。
- ウ 定期的に「つながりの輪」を開催し、地域の福祉・保健に関する情報交換と地域課題の抽出、検討を地域の支援者並びに五職種で連携して行いました。
- エ ケアマネジャーが地域の状況を知り、有効なインフォーマルサービスをケアプランに組み入れ、住み慣れた地域での生活が長く行えるように地域と連携できることを支援しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ア 自立支援を目指し、ご本人の意欲を大切にしながら、ご自身でできることを引き出し、また継続していけるように支援していきます。自立支援に向けた、多様で柔軟な生活支援が受けられる地域づくりを推進していきます。
- イ 生活機能低下の原因や危険性を早期に発見し、生活機能の向上のための具体的な目標を本人と共に共有していきます。
- ウ 支援計画に、利用者のセルフケア、家族支援、インフォーマルサービス、介護予防事業等を意識して取り入れていきます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ア 高齢者を年齢や心身の状況で分け隔てることなく住民運営の通いの場を充実させていきました。
- イ 人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していけるような地域づくりを推進していきました。
- ウ 他職種と連携し、引き続き地区診断を行いながら自立支援に資する取組を推進しました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

当地域ケアプラザは「いきいきセンター金沢」内に設置され、金沢区の様々な方が利用される複合施設です。館内の各施設は月に一度連絡会を開催しており、連携して施設設備（空調・消防・機械警備・冷暖房機器等）の保守点検を行い、「管理標準」の項目に沿って定期点検を実施しました。築 19 年となり、年数経過による故障も予測されますが、日常の管理を通して不具合の早期発見に努め、適切に迅速に対応しました。

衛生管理や感染症予防に万全を期し、ご利用者に安心して、また安全に利用していただけるよう努めました。

また、職員が率先してボランティアとともに、毎週火曜日に『さわやか清掃』を行い、清掃・草取りで環境保全と緑化に努めています。

(2) 効率的な運営への取組について

指定管理の事業が円滑に運用されるように、各担当が連携をとりながら各事業を推進しました。いきいきセンター金沢の建物管理、保守、清掃業者等の委託業者の選定にあたっては内容を調整しながら、経費削減を図りました。法人のスケールメリットを活用し、他の施設と合同で車両リースの一括入札や消耗品の共同購入などを行い、経費節減を図りました。

地域ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関して、法人本部と業務や役割の分担を図りながら連携して事務の効率化に努めました。

横浜 3R 夢運動を実施し環境への取組に力を入れ、節電・節水・資源の有効活用を励行しました。

(3) 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しました。地域ケアプラザ内に「ご意見箱」を置き、窓口以外でもお受けできるようにしました。

また法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員がおり、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取組を図りました。

苦情に対しては真摯に受け止め、不快と感じられたことに対しては即日対応し、原因・事実関係を明らかにし、必要に応じ体制を改善するなど再発防止に努めました。必要に応じて市や区に要望や苦情について報告しました。法人内の他施設の苦情も月 1 回サービス向上委員会を設置し、原因・事実関係を検討し、再発防止に取り組みました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

当地域ケアプラザでは地震、火災等の災害時の備えとして、防災対応マニュアル、消防計画・避難確保計画等を策定しています。また年2回の避難訓練、心肺蘇生法・応急訓練、津波避難訓練等を通して、緊急時に地域ケアプラザ職員がマニュアルに則った対応がとれるよう訓練し災害時に備えました。当地域ケアプラザの利用者で安否確認が必要な方には、区と連携して訪問して安否を確認し支援しました。

地域ケアプラザは横浜市より福祉避難所としての指定を受けています。災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な在宅要援護者等を、区災害対策本部長の要請によって受け入れます。金沢区災害ボランティアネットワーク・区内の施設とも連携をとり、月1回の定例会や講座・訓練などを行い、災害時に適切に対応できるようにしました。

防犯に関しては、警備業者と委託を結び機械警備により火災・盗難等の防止に努めました。

(5) 事故防止への取組について

介護サービスの提供中に起きた事故やヒヤリハットに対しては報告書を作成し、原因の究明・再発予防に取り組みました。事故等の報告を随時朝夕のミーティングの場において行い、職場内で注意を喚起しながら事故の未然の防止に努めました。

また、1年分の事故・ヒヤリハット報告を分類・分析し、再発防止策を会議で検討しました。そして事例に基づいた実践的な対応を学び、再発防止に努めました。当地域ケアプラザの事故・ヒヤリハットの事例だけでなく、法人内の他の事業所での事故の事例と対応も法人として把握し、報告書を回覧し、再発防止の意識を高めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人では個人情報保護規程を定め、それぞれの地域ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。また法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティー研修を担当職員が受講し、職場でも研修を実施しました。

全職員に対して年1回「個人情報の取り扱いについて」の研修を実施しました。また実際に個人情報取り扱いチェックを実施し、自己を振り返り、緊張感をもって個人情報を取り扱うように周知しました。

実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、個人ファイル、電子媒体などは施錠できるロッカーなどで保管することとし、止むを得ず携帯する場合には、管理職の許可を得て、最小限の情報のみを携帯しました。

個人情報の漏洩防止のため、連絡帳等の返却・郵便物の発送・FAX送信などの際には、複数の者でダブルチェックをしています。広報等に個人が特定できる記事や写真等を載せる場合は、書面と口頭で了解を得ました。

(7) 情報公開への取組について

当地域ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程に則り、積極的に情報を公開することに努めました。公開情報の内容は、法人の概要・サービス内容・財務状況・中期経営計画・事業計画書・事業報告書・地域ケアプラザ施設運営情報等です。

またホームページの公開やパンフレット・チラシの配布などを活用して、法人・地域ケアプラザを知っていただき、各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

(8) 人権啓発への取組について

法人では、倫理綱領を定め、人権の大切さ・自己決定・自立支援へ向けての取組について職員全体に周知しています。法人本部で人権研修が企画・実施され、職員が受講し事業所においても研修を実施しました。

問題等があった場合は、事業所内で改善に向けた取組を行うとともに、事業所の状況を法人でも共有し必要な対策をとっていきます。

(9) 環境等への配慮及び取組について

ゴミの減量を推進し、省エネルギーに努めます。節電・節水・資源ごみの分別・資源の有効利用を心がけます。館内利用者にも協力を求め、ゴミの持ち帰りをお願いしました。

節電においては、不要な照明の消灯・使用していないパソコンの電源を落とし、日頃から省エネルギー対策の意識が定着するように啓発しました。これらは当地域ケアプラザが設置されている複合館いきいきセンター全体での取り組みでもあります。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- 保健師（看護師）1名 社会福祉士 2名 主任ケアマネジャー 1名
介護予防プランナー（介護支援専門員）5名
- ア 社会福祉士、主任ケアマネジャー、介護予防プランナーと共に保健師が中心となって、介護予防支援業務に取り組みました。
- イ 介護予防支援業務の一部を居宅介護支援事業者に委託しました。

《目標》

- ア 自立支援を目指し、ご本人の意欲を大切にしながら、ご自身でできることを引き出し、また継続していけるように支援していきました。自立支援に向けた、多様で柔軟な生活支援が受けられる地域づくりを推進していきました。
- イ 生活機能低下の原因や危険性を早期に発見し、生活機能の向上のための具体的な目標を本人と共に共有していきました。
- ウ 支援計画に、利用者のセルフケア、家族支援、インフォーマルサービス、介護予防事業等を意識して取り入れていきました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則としてご利用者の負担はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア 介護保険申請中の方の暫定サービス利用に対し、主任ケアマネジャーや社会福祉士などと連携をとりながら、居宅介護支援事業者及びサービス事業者との調整を行い、必要性に応じた早急な対応を行いました。
- イ 介護保険外のインフォーマルサービスを、地域交流部門や地域の方々と連携し合い、紹介や調整を行いました。
- ウ 介護予防事業「元気づくりステーション」等の取組や地域支援に対し、福祉保健センターと連携を図りました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
314	313	311	314	308	303
10月	11月	12月	1月	2月	3月
308	305	308	322	321	319

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者：常勤兼務 1名
 主任介護支援専門員 常勤兼務 1名
 介護支援専門員：常勤 2名 非常勤専任 1名

《目標に対する成果等》

- ア 適正な保険医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業所から、総合かつ効率的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所等との連絡調整を行いました。
- イ 事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- ウ 居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標とし、取り組みました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則としてご利用者の負担はありません。
- 通常の事業実施地域をこえる地域に訪問、出張する必要がある場合には、ご利用者又はご家族等に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨を文書に署名（記名、押印）をいただきます。その上で以下の方法で実費をいただきます。
 - ・公共交通機関を利用した場合
公共交通機関の運賃分となります。また、作成した明細書等により請求します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア 介護保険内のサービスだけでなく、地域と連携をとりインフォーマルなサービスも調整しました。
- イ 地域包括支援センターと連携をとり、緊急時や困難時にも対応しました。
- ウ ご利用者が入院されても、在宅復帰できるように医療ソーシャルワーカーと連携をとり、相談に応じました。
- エ ご利用者の在宅生活が困難になったときには、ご利用者やご家族の意向を尊重し各種施設の紹介をし、入所手続きの相談に応じました。
- オ 特定事業所（Ⅲ）の指定を受け、24時間対応できる体制を整えています。ケアマネジメントの質の向上に向けて個別に研修計画を策定し、研鑽しています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
100	103	101	101	101	98
10月	11月	12月	1月	2月	3月
97	100	99	96	92	94

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなどのサービス）
- 個別機能訓練、口腔機能訓練、レクリエーション
- 健康状態の観察、入浴、食事、送迎
- 生活指導・相談援助
- 広報誌の発行

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分～通所介護～

～認知症対応型通所介護～

（要介護1）	692円	1,072円
（要介護2）	816円	1,188円
（要介護3）	947円	1,305円
（要介護4）	1,076円	1,422円
（要介護5）	1,205円	1,539円
個別機能訓練加算（認知症対応型通所介護のみ）		30円
サービス提供体制強化加算Ⅰイ	20円	20円
中重度ケア体制加算（通所介護のみ）	49円	
入浴介助（入浴された方のみ）	54円	55円
口腔機能向上加算	161円	164円
若年性認知症受入	65円	66円

● 食費負担

750円

- お客様の希望による手芸・工作などのクラブ活動においては材料費の実費

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:30 ～ 16:30

《職員体制》

- 管理者：常勤兼務1名
- 生活相談員：常勤兼務4名
- 看護職員：非常勤兼務5名
- 介護職員：常勤兼務3名 非常勤兼務24名
- 機能訓練指導員：非常勤兼務4名
- 調理員：非常勤兼務6名
- 送迎運転手：非常勤兼務8名

《目標に対する成果等》

目標「みんな笑顔！来てよかったデイサービス」

- お客様の変化を見逃さないよう、ひとつひとつを大切にいたします
- お客様おひとりおひとりの言葉を大切にし、耳を傾けます
- お客様に信頼していただけるようチームワークに努めます
- 相談しやすい、話しやすい環境づくりに努めます

～通所介護～

上記を目標とし、お客様の意思を尊重し、心身の状況や環境などに応じて、お客様が住み慣れた地域・家庭でいつまでも自立した日常生活を営むことができるように取り組みました。特に生活機能が低下しないように、ご自分でできることはできる限りご自分で、できないことは少しでも出来るように、とする自立支援的かわりに重点を置きました。増加する認知症の方の個別の状態に合わせて対応し、落ち着いたお気持ちでデイサービスをご利用いただくことを目指しました。

～認定症対応型通所介護～

- お客様のお気持ちを尊重し、落ち着いたお気持ちで過ごしていただけるよう関わらせていただきました。出来る限り、お客様と介護者の意思疎通が図れるようゆったりと会話を持ち、あたたかい気持ちになれることを目指しました。
 - 個別機能訓練は、個々の能力とご希望に応じ、それぞれの状態に応じた体の動きができるよう取り組みました。運動能力の高い方には、競技性の高い運動を取り入れ、身体を動かすことによる爽快感とゲーム性による楽しみも味わっていただけるよう工夫しました。
 - 創作活動やレクリエーションは、それぞれの方が持っている能力を活かし、達成感や楽しさを感じられるような関わりを行いました。また、個人のみではなく、他の方と協力して行えることも工夫しました。
 - 入浴を楽しんでいただけるよう、毎月変わり湯を提供しました。
 - 日常生活に必要な能力の維持・向上を目指し、個別計画を作成し、充実した生活に繋がるよう支援しました。
- 人権を尊重し、自尊心を保ち続けるケアを常に心がけました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

～通所介護～

- 個別機能訓練は運動・動作能力の維持・向上を目的に、インストラクターの指導の下、いつまでも『住み慣れた地域・家庭で自立した生活が送れる』ようにストレッチ（柔軟）バランス（重心移動）コンディショニング（姿勢矯正）レジスタンス（筋力向上）などの各種トレーニングや日常生活における動作訓練を行いました。また、機能訓練の一環として心身の活性化を目的に、施設外での活動をしました。
- 看護職等による生活機能向上に資した個別機能訓練の実施も行いました。
- 口腔機能向上訓練では、単なる歯磨きや嚥下体操だけでなく、看護職の指導の下、お客様一人ひとりの口腔内の状態や食事の様子を把握し、お客様が『いつまでも元気で、美味しく食事ができる』ように口腔ケアの方法や舌・口の周りの筋肉トレーニングを行いました。
- 自立支援的な取組により、生活機能の維持・向上と生活意欲の向上を目指して自分の目標を持っていただき取り組みました。また、食事・排泄・入浴などの日常生活動作を通じて、ご自分でできるところはご自分で行っていただき、その方に応じた機能が向上するように取り組みました。
- 集団的にレクリエーションだけでなく、個々の希望に合わせて自分で選択しながら楽しんでいただくコーナーを用意し、手芸・制作・ゲーム・囲碁・将棋・頭の体操・創作活動などを行い、お客様同士の交流を深め、心身の活性化に努めました。
- 季節に合わせたお食事を提供しました。お正月・敬老週間には松花堂弁当など器や献立も工夫しました。お客様からの要望や希望をお聞きする機会を設け、食事が楽しく充実するよう取り組みました。
- 入浴を楽しんでいただけるよう、毎月変わり湯を提供しました。
- 家族会を開催し、日頃から介護に携わるお客様家族同士や生活相談員等の意見交換の場を設けました。介護されるご家族同士の情報交換や、ご利用における疑問等の解消に努め、在宅と通所介護の連携を高めました。

～認知症対応型通所介護～

- お客様のお気持ちを尊重し、落ち着いたお気持ちで過ごしていただけるよう関わりました。出来る限り、お客様と介護者の意思疎通が図れるようゆったりと会話を持ち、あたたかい気持ちになれることを目指しました。
- 個別機能訓練は、個々の能力とご希望に応じ、それぞれの状態に応じた体の動きができるよう取り組みました。運動能力の高い方には、競技性の高い運動を取り入れ、身体を動かすことによる爽快感とゲーム性による楽しみも味わっていただ

けるよう工夫しました。

- 創作活動やレクリエーションは、それぞれの方が持っている能力を活かし、達成感や楽しさを感じられるような関わりを行いました。また、個人のみではなく、他の方と協力して行えることも工夫しました。
- 入浴を楽しんでいただけるよう、毎月変わり湯を提供しました。
- 日常生活に必要な能力の維持・向上を目指し、個別計画を作成し、充実した生活に繋がるよう支援しました。

人権を尊重し、自尊心を保ち続けるケアを常に心がけました。

《利用者実績（延べ人数）》

～通所介護～

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
657	698	690	678	671	702
10月	11月	12月	1月	2月	3月
710	684	638	599	595	678

～認知症対応型通所介護～

4月	5月	6月	7月	8月	9月
155	152	141	156	173	171
10月	11月	12月	1月	2月	3月
180	166	140	113	141	153

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなどのサービス）
- 運動器機能向上訓練、口腔機能向上訓練、生活機能向上グループ活動
- レクリエーション（集団・個別）戸外機能訓練
- 健康状態の観察、入浴、食事、送迎
- 生活指導・相談援助
- 広報誌の発行

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

一割負担分	
（事業対象者）	1, 766円
（要支援1）	1, 766円
（要支援2）	3, 621円
サービス提供体制強化加算Ⅰイ	155円
運動器機能向上加算	242円
口腔機能向上加算	161円
若年性認知症受入	258円
● 食費負担	750円（おやつを含む）
● 利用者の希望による手芸・工作などのクラブ活動においては材料費等の実費	

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者：常勤兼務1名
 生活相談員：常勤兼務4名
 看護職員：非常勤兼務5名
 介護職員：常勤兼務5名 非常勤兼務24名
 機能訓練指導員：非常勤兼務5名
 調理員：非常勤兼務6名
 送迎運転手：非常勤兼務8名

《目標に対する成果等》

目標「みんな笑顔！来てよかったデイサービス」

- お客様の変化を見逃さないよう、ひとつひとつを大切にいたします
- お客様おひとりおひとりの言葉を大切に耳を傾けます
- お客様に信頼していただけるようチームワークに努めます
- 相談しやすい、話しやすい環境づくりに努めます

上記を目標とし、お客様の意思を尊重し、心身の状況や環境などに応じて、お客様が住み慣れた地域・家庭でいつまでも自立した日常生活を営むことができるように取り組みました。特に生活機能が低下しないように、ご自分でできることはできる限りご自分でできるような自立支援的かわりに重点を置き、必要に応じて目標を設定し、達成に向けて支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 運動器機能向上訓練加算を申請し、運動・動作能力の維持・向上を目的に、インストラクターの指導の下、いつまでも『住み慣れた地域・家庭で自立した生活を送れる』ようにストレッチ（柔軟）バランス（重心移動）コンディショニング（姿勢矯正）レジスタンス（筋力向上）などの各種トレーニングや日常生活における動作訓練を行いました。また、機能訓練の一環として心身の活性化を目的に、外出レクリエーションを行いました。
- 口腔機能向上加算を申請し、単なる歯磨きや嚥下体操だけでなく、看護職の指導の下、お客様一人ひとりの口腔内の状態や食事の様子を把握し、お客様が『いつまでも元気で、美味しく食事ができる』ように口腔ケアの方法や舌・口の周りの筋肉トレーニングを行いました。
- お客様に対して、お客様の心身の状況や希望に基づき、集团的にレクリエーションを行い、創作活動などを通して、お客様同士の交流を深め、心身の活性化に努めました。
- 集团的なレクリエーションだけでなく、個々の希望に合わせて自分で選択しながら楽しんでいただくコーナーを用意し、手芸・制作・ゲーム・囲碁・将棋・頭の体操・創作活動などを行い、お客様同士の交流を深め、心身の活性化に努めました。
- 自立支援的な取組により、生活機能の維持・向上と生活意欲の向上を目指しました。食事・排泄・入浴などの日常生活動作を通じて、ご自分でできるところはご自分で行っていただき、その方に応じた機能が向上するように目標を設定し、達成に向けて支援しました。
- 入浴を楽しんでいただけるよう、毎月変わり湯を提供しました。
- 日常生活に必要な能力の維持・向上を目指し、個別計画を作成し、充実した生活に繋がるよう支援しました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	18	18	18	18	16
10月	11月	12月	1月	2月	3月
18	16	18	18	17	17

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
健康サポート教室 「かめの会」	高齢者	122483	地活	2483	120000	0	94760	7023	20700
	600人		包括						
	200円		介護						
			生活						
脳いきいきサロン 「つるの会」	高齢者	52125	地活	1425	50700	0	0	52125	0
	507人		包括						
	100円		介護						
			生活						
いきいき会食会	地域	132583	地活	583	132000	0	0	122683	9900
	440人		包括						
	300円		介護						
			生活						
ティーサロン 「となりのえんがわ」	高齢者	42291	地活	5786	8300	0	2226	9460	2400
	265人		包括	5089	9000	0	2228	9461	2400
	100円		介護						
			生活	4916	9200	0	2228	9488	2400
中途障がい体操教室	障がい者	26000	地活	13300	12700	0	20000	0	6000
	127人		包括						
	100円		介護						
			生活						
障がい者余暇活動支援 事業 「いちばん星」	障がい者	22353	地活	253	22100	0	0	15753	6600
	179人		包括						
	100円(137人)200円(42)		介護						
			生活						
お母さんのしゃべり場	養育者及び乳幼児	9957	地活	2257	7700	0	0	4557	5400
	77人		包括						
	100円		介護						
			生活						
育児講座	養育者及び乳幼児	3288	地活	3288	0	0	0	3288	0
	64人		包括						
	0円		介護						
			生活						
いきいき子育て連絡会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	38人		包括						
	0円		介護						
			生活						
第1回利用調整会議	その他(貸室登録団体)	16674	地活	16674	0	0	0	0	16674
	48人		包括						
	0円		介護						
			生活						
第2回利用調整会議	その他(貸室登録団体)	3900	地活	3900	0	0	0	0	3900
	40人		包括						
	0円		介護						
			生活						
いきいきセンターまつり	地域	62909	地活	23509	0	39400	0	40203	22706
	657人		包括						
	0円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ボランティア講座	地域	8000	地活	4000	0	0	4000	0	0
	46人		包括						
	0円		介護						
			生活	4000					
ボランティア感謝会	ボランティア	10668	地活	10668	0	0	0	10668	0
	50人		包括						
	0円		介護						
			生活						
もぐもぐタイム	地域	7230	地活	3030	0	4200	0	7230	0
	42人		包括						
	100円(コーヒー代)		介護						
			生活						
転倒骨折予防教室 「平潟南部体操教室」	高齢者	0	地活		0	0	0	0	0
	93人		包括	0					
	300円(共催相手収入)		介護						
			生活						
転倒骨折予防教室 「野島・乙舩体操教室」	高齢者	0	地活		0	0	0	0	0
	128人		包括	0					
	300円(共催相手収入)		介護						
			生活						
転倒骨折予防教室 「洲崎晴嵐会健康サポート教室」	高齢者	0	地活		0	0	0	0	0
	125人		包括	0					
	200円(共催相手収入)		介護						
			生活						
金沢区地域ケアプラザ 共催事業 「サマーフレンド」	障がい児	53806	地活	3666	18000	32140	0	26940	26866
	14人		包括						
	1,000円(6名)1500円(8名)		介護						
			生活						
介護者のつどい ほっとタイム	高齢者	7429	地活		0	0	6682	747	0
	79人		包括	7429					
	0円		介護						
			生活						
平成30年度 成年後見制度講座	高齢者	0	地活		0	0	0	0	0
	21人		包括	0					
	0円		介護						
			生活						
いきいきライブ 尚舞会オンステージ	高齢者	5500	地活	5500	0	0	0	5500	0
	63人		包括						
	0円		介護						
			生活						
いきいきライブ サマーコンサート	地域	5000	地活	5000	0	0	0	5000	0
	69人		包括						
	0円		介護						
			生活						
地域で見守る支援者の ための勉強会 「若者支援とは？～地域 で見守り力を強めていこ う～」	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	11人		包括						
	0円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
サロン支援者交流会	サロン運営者	28932	地活	28932	0	0	13568	6000	9364
	71人		包括						
	0円		介護						
			生活						
思春期講座	養育者	8909	地活	8909	0	0	8909	0	0
	12人		包括						
	0円		介護						
			生活						
コーヒーdeボランティア講座2	地域	28979	地活	1979	27000	0	0	26459	2520
	102人		包括						
	1000円		介護						
			生活						
講演会 新しい子育てのヒント	養育者	17469	地活	13969	0	3500	8909	8000	560
	10人		包括						
	500円(保育料)		介護						
			生活						
新しい子育てのヒント フォローアップ・子育て講演会	養育者	5568	地活	4568	1000	0	5568	0	0
	2人		包括						
	500円		介護						
			生活						
地域の居場所 わか	地域	69149	地活	24349	0	44800	0	53749	15400
	455人		包括						
	100円(コーヒー代)		介護						
			生活						
つながりの輪 この指と〜まれ	地域	2775	地活	925	0	0	0	925	0
	73人		包括						
	0円		介護						
			生活						
体験！ 男性アレコレ講座	地域	97879	地活	26006	49000	22873	15023	80576	2280
	140人		包括						
	500円～1,000円		介護						
			生活						
ケアマネジャーネット ワーク構築支援	ケアマネジャー・民生委員他	27650	地活	27650	0	0	23386	0	4264
	110人		包括						
	0円		介護						
			生活						
子育てママのリンパ体操	養育者及び乳幼児	12256	地活	3656	3600	5000	11136	0	1120
	12人		包括						
	300円		介護						
			生活						
男性コグニサイズ	高齢者	33920	地活	33920	0	0	30000	0	3920
	88人		包括						
	0円		介護						
			生活						
わが町再発見！ 資源循環局金沢工場見 学ウォーキング	地域	6560	地活	4760	1800	0	0	6000	560
	6人		包括						
	300円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
わが町再発見！ 梅花をたずねて	地域	6560	地活	3860	2700	0	0	6000	560
	9人		包括						
	300円		介護						
			生活						
障がい者余暇支援事業 「うどん屋さんになってみよう」	障がい者	5714	地活	2314	1200	2200	0	5154	560
	6人		包括						
	200円		介護						
			生活						
海遊びdeボランティア講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	25人		包括						
	0円		介護						
			生活						
小学生工作教室	子ども	4560	地活	3260	1300	0	0	4000	560
	13人		包括						
	100円		介護						
			生活						
金沢南部地区 こどもフェスティバル	子ども	3237	地活	3237	0	0	0	3237	0
	243人		包括						
	0円		介護						
			生活						
平成30年度金沢南部地区 社会福祉協議会総会 第二部福祉講座『電話 で、お金の話は？』	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	58人		包括						
	0円		介護						
			生活						
金沢文庫公団自治会 「おしゃべり会」	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	36人		包括						
	0円		介護						
			生活						
『運動習慣を取り入れて ロコモ予防』	高齢者	74613	地活		0	0	27842	18144	28627
	94人		包括						
	0円		介護	74613					
			生活						
医療講演会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	19人		包括						
	0円		介護						
			生活						
医療講演会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	38人		包括						
	0円		介護						
			生活						
泥亀クリーンアップ大作戦	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50人		包括						
	0円		介護						
			生活						
介護予防教室	高齢者	0	地活		0	0	0	0	0
	90人		包括	0					
	0円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
柴町内会サロン	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	18人		包括						
	0円		介護						
			生活						
子どもと作り、 食べて、遊ぶ	障がい児	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10人		包括						
	0円		介護						
			生活						
認知症サポーター養成 講座 寺前東長寿会	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15人		包括						
	0円		介護						
			生活						
スポーツ吹き矢講座	地域	6451	地活						
	19人		包括						
	300円		介護						
			生活	751	5700	0	3341	2550	560
認知症サポーター養成 講座 中部地区保健活 動推進員	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10人		包括						
	0円		介護						
			生活						
柴町de健康麻雀	高齢者	13523	地活						
	84人		包括						
	0円		介護	13523	0	0	10023	0	3500
			生活						
ちゅーりっぷコンサート	乳幼児	10000	地活	10000	0	0	0	0	10000
	228人		包括						
	0円		介護						
			生活						
デイサービスボランティア 交流会	その他(デイサービスボ)	0	地活	0	0	0	0	0	0
	4人		包括						
	0円		介護						
			生活						
いきいきキッチン Caféカレーランチ	地域	10150	地活	250	9900	0	0	9310	840
	33人		包括						
	300円		介護						
			生活						
大広間健康生活座談会 「地域包括支援センター とは」	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15人		包括						
	0円		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康サポート教室 「かめの会」	(目的) 概ね50歳以上の人を対象に、転倒骨折予防、介護予防や健康を増進のための体操を学び、日常の体操習慣をつける。 (内容) 健康維持のためのストレッチやコンディショニング体操	第2、第4木曜日 (9月27日日除く) 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいきサロン 「つるの会」	(目的) 高齢者、障がい者の閉じこもりを防止し地域住民の交流を図る。ケアプラザの周知、情報提供。折り紙、手芸などのツールを使い、脳を活性化する。 (内容) 地域住民が交流を図りながら、折り紙・手芸など手先を使って、作品を作る。	第1、第3木曜日 (祝日休み) 21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき会食会	(目的) 食事を通じた地域での交流の機会。ボランティア活動の場の提供。 (内容) 主に 高齢者を対象とした手打ちうどんの会食会 (共催) おかめの会	4月10日、5月16日、6月4日、7月18日、9月11日、10月9日、11月13日、12月3日、1月16日、2月6日、3月12日 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ティーサロン 「となりのえんがわ」	(目的) 地域住民の交流を図り、高齢者の居場所づくりのためのティーサロン。 (内容) ボランティアによる手作りお菓子とお茶の歓談の時間とミニ講座(介護保険、悪徳商法について、ペタンク等)を開催し、情報提供	第3火曜日 12回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中途障がい者 体操教室	(目的) 主に脳血管障害等による中途障がい者を対象に機能回復を目的とした体操 (内容) 機能訓練 ゲーム 交流 (講師) 横浜市体育協会	第4水曜日 (7月、12月は除く) 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい者余暇活動支援事業 「いちばん星」	(目的) 学齢期を過ぎた障がい者の余暇活動支援 家族のレスパイト (内容) カラオケなどを楽しみ、交流を深める (共催) 晴嵐かなざわ	第2水曜日 (8月除く) 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お母さんのしゃべり場	(目的) 子育ての悩み、不安を話すことで解消する。養育者同士の仲間作り。 情報交換・情報提供 (内容) ミニ企画 (ダンス 合唱等) 養育者同士の交流、リフレッシュ、情報交換、情報提供 (共催) 子育て支援ネット「ふきのとう」	第2月曜日 (10月、1月、2月を除く) 9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
育児講座	(目的) 乳幼児の養育者を対象に、乳幼児の健全な育成のため食育や心と体の健康を保つための育児講座を開催する。 (内容) 第1回 ふれあい遊び 第2回 運動会ごっこ 第3回 食育講座 (共催) 金沢さくら保育園 子育て支援ネット「ふきのとう」	6月28日 10月16日 1月29日 3回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いきいき子育て連絡会	(目的) 顔の見える関係を構築し、子育て支援団体、当事者団体、関係機関のネットワークを拡充する。地区主任児童委員と子育て支援関係の各団体との情報提供・情報交換 (内容) 地域の子育て支援をしている主任児童委員、地域子育て支援団体、当事者団体、子育て支援に関わる関係機関、貸室登録団体とのネットワークを構築し、団体相互の活動紹介、報告を行う。「こどもの健やかな育ちの支援、外遊び、公園遊び」	8月27日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第1回利用調整会議	(目的) 福祉保健団体の交流 貸室利用のマナー向上 福祉保健活動の推進 (内容) 福祉保健活動等の情報提供や意見交換、活動継続等のための研修等	8月1日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第2回利用調整会議	(目的) 福祉保健団体の交流 貸室利用のマナー向上 福祉保健活動の推進 (内容) 福祉保健活動等の情報提供や意見交換、活動継続等のための研修等	2月1日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきセンターまつり	(目的) 地域の方々やいきいきセンターを利用している方々との交流を図る。ケアプラザの周知。 (内容) お囃子、転倒予防体操、模擬店、バザー、血管年齢チェック、認知症啓発等 *全館開催 金沢区社会福祉協議会、晴嵐かなざわ、三師会立訪問看護ステーション、福祉機器支援センターと協働	10月27日 1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア講座	(目的) ボランティアのきっかけ、ボランティア活動の紹介等 (内容) よこはまシニアボランティア登録研修会、認知症サポーター養成講座、傾聴講座、体験してみようボランティア、修了式	11月1日、11日、15日、 11月20日～12月10日は体験、12月11日 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	(目的) 日頃から活動されているボランティアの方々に感謝を表し、今後の活動への意欲を保ちつつ、楽しく活動が継続されるように支援していく。 (内容) お互いのボランティア活動の情報交換、意見交換、交流など	2月22日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もぐもぐタイム	(目的) 複合館のメリットを生かし、地域住民が交流できる、活動の場を提供する。 (内容) 生きがい就労支援スポットと協働で音楽を聴きながら、立ち寄れる場を提供。演奏のボランティア、コーヒーボランティアの協力	6月27日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
転倒骨折予防教室 「平潟南部 体操教室」	(目的) 地域の概ね60歳以上の人を対象に、転倒骨折予防、介護予防や健康を増進のための体操を学び、日常の体操習慣をつける。地域で開催し高齢者に健康の啓発、情報提供する。 (内容) 健康維持のためのストレッチやコンディショニング体操 (講師) 金沢スポーツクラブ 櫻井慧子氏 (共催) 平潟南部町内会	第4火曜日 (8月、12月除く) 10回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
転倒骨折予防教室 「野島・乙舩 体操教室」	<p>(目的) 地域の概ね60歳以上の人を対象に、転倒骨折予防、介護予防や健康を増進のための体操を学び、日常の体操習慣をつける。地域で開催し高齢者に健康の啓発、情報提供する。</p> <p>(内容) 健康維持のためのストレッチやコンディショニング体操、かもめ体操、はまちゃん体操 (講師) 金沢スポーツクラブ 森映子氏 (共催) 野島町内会 乙舩町内会</p>	<p>第2金曜日 (7月、8月除く)</p> <p>10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
転倒骨折予防教室「洲崎晴嵐会 健康サポート教室」	<p>(目的) 転倒骨折予防及び健康増進に関する啓発。介護予防・メタボリック症候群予防。閉じこもり防止。</p> <p>(内容) 地域包括支援センター職員による健康講話 高齢者の健康増進、転倒骨折、ロコモ予防、介護予防 (講師) 金沢スポーツクラブ 渡邊純子氏 (共催) 洲崎晴嵐会</p>	<p>第2、第4水曜日</p> <p>24回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢区地域ケア プラザ共催事業 「サマーフレンド」	<p>(目的) 障がいのある学齢期の子どもが夏休みに様々な人々と共有の体験を通して交流し余暇を楽しむ。ボランティア体験を通して障がいについて理解していく。</p> <p>(内容) ラーメン作りと夏祭り マリーンシャトルに乗ろう</p> <p>(共催) 金沢区内地域ケアプラザ 金沢区社会福祉協議会</p>	<p>7月30日 8月10日</p> <p>2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい ほっとタイム	<p>(目的) 在宅で介護を行っている介護者や介護の経験のある方、また興味のある方を対象に、懇談会を中心として介護者同士の交流・情報交換等により一人で抱え込まない介護を目指す。 相談窓口の周知や介護負担の軽減を図る。</p> <p>(内容) 講義、実技、体験、見学等</p>	<p>5月17日 7月12日 9月13日 11月13日 1月25日 3月1日</p> <p>6回</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
平成30年度成年後見制度講座	(目的) 老後に直面しやすい問題から今後について考えるきっかけ作りをする。 (内容) 司法書士を招き、介護生活を例に、成年後見制度について講話、前半セミナー、後半個別相談会	11月4日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきライブ 尚舞会オンス テージ	(目的) 合唱、舞踊、演奏などを通じて地域住民の交流を深める。 (内容) 尚舞会オンスステージ	6月22日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきライブ サマーコンサ ート	(目的) 合唱、舞踊、演奏などを通じて地域住民の交流を深める。 (内容) 早大グリークラブOBわいわいクラブのよるニューイヤークンサート	7月2日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域で見守る 支援者のための 勉強会「若者支 援とは?～地域 の見守り力を強 めていこう～」	(目的) 障がいのある方やそのご家族を見守る地域支援者を対象とする勉強会。権利擁護の視点や各種制度の理解より支援の輪を広げる。 (内容) 懇談会 勉強会	3月18日 1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン支援者交流会	(目的) 地域でサロンを運営している支援者を対象に情報交換や交流の機会を提供 (内容) サロンに役立つ内容や情報を提供、お互いの情報交換や交流会(傾聴講座、リンパ体操、交流会)	1月31日 2月4日 2月20日 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
思春期講座	(目的) 思春期のこどもへのかかわりやコミュニケーションの取り方などを知る機会を提供 (内容) わかりやすいコミュニケーションや関わり方のヒントを具体的に学ぶ。	6月29日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コーヒーdeボランティア講座2	(目的) 講座を通じて、地域の中で仲間を作り、ボランティア活動、地域活動に発展していく。 (内容) 4回コースでコーヒーの淹れ方を学び、ボランティアの経験談を聞いたり、ボランティア体験をしていく。すでに活動しているボランティアグループと共催で実施。	9月3日 9月10日 9月17日 9月25日 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
講演会 新しい子育てのヒント	(目的) 子育ての不安や悩みを持っている養育者に子どもにとって分かりやすいコミュニケーションの取り方などを知る機会を提供 (内容) わかりやすいコミュニケーションやしつけのヒントを具体的に学ぶ。	11月22日 1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
新しい子育てのヒントフォローアップ・子育て講演会	<p>(目的) 子育ての不安や悩みを持つ養育者がこどもにとって分りやすいコミュニケーションの取り方について具体的に学び、子育てが楽に、楽しく感じられるようになる。講座終了後のフォローアップと養育者同士の交流</p> <p>(内容) 実践してみてもうまくいったことやうまくいかなかったことを共有し、参加者同士の意見交換や講師からのアドバイスを受け、悩みや成果を共有</p>	<p>12月18日</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域の居場所わっか	<p>(目的) 地域住民、ボランティア、その他関係機関と協力して地域の方の集える居場所をつくる。</p> <p>(内容) 龍華寺・地藏堂で、地域の人が集える居場所を開催する。</p>	<p>最終火曜日 (12月除く)</p> <p>11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つながりの輪 この指と～まれ	<p>(目的) 民生委員、ケアマネジャー、地域の方々と連携を深め自分たちで地域に出来る事を考え情報・意見交換を行い、地域の支援作りのきっかけをつくる。 ひとりくらしの高齢者や認知症の方々への民生委員の活動の中から見えてくる内容を中心に地域での高齢者支援を話し合い連携をとれる体制作りを行う。 (内容) 地域での取り組みや活動に向けての情報交換、意見交換、実施に向けての基礎作り</p>	<p>4月6日 6月6日 8月30日 11月2日 12月11日</p> <p>5回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体験! 男性アレコレ講座	<p>(目的) 地域支援づくりのきっかけを作る。 アクティブな男性を呼び込んでシニアの仲間作りを図る。</p> <p>(内容) 地域の有志の方々と話し合った内容の講座を開催。 ①スポーツ吹き矢 ②網戸の張替え ③パン作り ④魚のさばき方 ⑤しめ縄づくり ⑥交流会 ⑦新年会 ⑧プロジェクトチーム会議</p>	<p>6月11日 6月20日 9月12日 10月23日 11月29日 12月7日 1月22日 3月14日</p> <p>8回</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネジャーネットワーク構築支援	(目的) 顔の見える関係の構築・迅速な問題解決・地域福祉の推進。地区民生委員・児童委員と事業所ケアマネジャー並びに地域の支援者・事業所とのネットワークの構築 (内容) ケアプラザ主催で民生委員児童委員、地域の支援者、ケアマネジャーとで情報共有、意見交換、地域把握などを行う。2回目は「公開セミナー」～認知症と地域の支えあい～を開催	7月23日 2月15日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てママのリンパ体操	(目的) 子育て中の養育者が自分自身の健康についても意識を向けることが出来るようになっていく。 リフレッシュ (内容) ストレッチや体操をして、リンパの流れをよくして、体をリフレッシュする。 金沢南部地区子育てしやすい地域づくり協議会 Sea Angel 共催	11月8日 3月14日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性コグニサイズ	(目的) 地域の男性を中心に、地域での繋がり、活動を通して、認知症予防、介護予防を行っていく。 (内容) 脳と体を同時に使うコグニサイズ	7月5日、7月19日 8月2日、8月16日 9月6日、9月20日 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わが町再発見！資源循環局金沢工場見学ウォーキング	(目的) 地域の歴史・名所を学び、地域を再発見する地域住民の交流を図りながらウォーキングで健康増進する。 (内容) 金澤シティガイド協会の説明による金沢区の歴史、名所を歩く。	11月30日 1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わが町再発見！ 梅花をたずねて	(目的) 地域の歴史・名所を学び、地域を再発見する 地域住民の交流を図りながらウォーキングで健康増進する。 (内容) 金澤シティガイド協会の説明のよる金沢区の歴史、 名所を歩く。	2月27日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい者余暇支援事業 「うどん屋さん になってみよう」	(目的) 障害児者が様々な人と共有な体験を通して交流することができる (内容) ボランティアと協力してうどんを作り、味わう。その後ゲームなどで楽しむ	3月10日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
海遊びdeボランティア講座	(目的) 講座を通じて、地域の中で仲間を作り、ボランティア活動、地域活動に発展していく (内容) 横浜市で唯一残る自然海岸の野島で海遊びの魅力を 知る。ボランティア活動をはじめの際に必要な子どもへのか かわりなども学ぶ 金沢区民活動センター、野島青少年研修センター共催	5月9日 5月16日 5月23日 5月30日 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生工作教室	(目的) ものづくりをともに体験することで、交流し作る喜びを味わう。ケアプラザの周知の機会 (内容) 身近な材料を用いた手作りおもちゃを作成して、遊ぶ	8月20日 1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
金沢南部地区こどもフェスティバル	(目的) 乳幼児及び養育者対象の子育て支援事業 地域支援者とのネットワーク作り (内容) バルーンアート	5月19日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平成30年度金沢南部地区社会福祉協議会総会第二部福祉講座『電話で、お金の話は?』	(目的) 金沢南部地区社会福祉協議会との連携を深める。ケアプラザや地域包括支援センターの役割などの周知 (内容) 寸劇を交えて、振り込め詐欺・消費者被害にあわないための方法、相談窓口について周知	5月12日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢文庫公団自治会「おしゃべり会」	(目的) 住民の介護予防、閉じこもり防止 (内容) 熱中症予防、食中毒予防、認知症予防等の講話、ゲーム、スリーA、歌、おしゃべりなど	6月21日 9月20日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
『運動習慣を取り入れてロコモ予防』	(目的) 介護予防の普及啓発 (内容) 介護予防・ロコモ予防についての講和 人との交流やつながりを意識したゲーム、体操	6月5日 7月3日 9月4日 10月2日 11月6日 5回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療講演会	(目的) 地域医療機関との連携を図り、地域住民に生活習慣病予防、介護予防、健康啓発を行う。 (内容) 医療講演会「痛みのはなし」 (講師) 神奈川県立循環器呼吸器病センター	2月12日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講演会	(目的) 地域医療機関との連携を図り、地域住民に生活習慣病予防、介護予防、健康啓発を行う。 (内容) 医療講演会「今日からできる健康体操」「整形外科での腰痛治療」 (講師) 金沢病院 他	10月11日 11月12日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
泥亀クリーンアップ大作戦	(目的) まちづくり啓発、青少年の健全な育成 (内容) いきいきセンター金沢内団体と八景小学校が連携し、近隣の清掃を行う。	6月5日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防教室	(目的) 「みんなの広場」の既存講座の他に介護予防教室を新設し、若草病院の協力を得ながら、介護予防啓発や介護保険に関する情報提供を行う。 (内容) 地域の方々と交流を図りながら、楽しく介護予防関連について学ぶ	7回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
柴町内会サロン	(目的)介護予防等普及啓発と地域ケアプラザの役割機能の周知、地域高齢者のニーズ把握 (内容)介護保険制度を中心に質疑応答を交え、ざっくばらんに話しながら理解を深めていただく。	7月4日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもと作り、食べて、遊ぶ	(目的)障がい児者が地域の中で様々な体験を行う機会を設ける。 (内容)夏休み期間中に調理、会食、リトミック	7月24日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 寺前東長寿会	(目的)認知症に対する理解を促し、地域での見守りの強化 (内容)認知症や対応の仕方など分かりやすく説明、質疑応答、地域包括支援センターの相談機能、自主事業等の紹介	9月22日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スポーツ吹き矢講座	(目的)体験！男性アレコレ講座1回目『スポーツ吹き矢』のフォローアップ講座 (内容)男女を問わず募集して、スポーツ吹き矢講座を開催	7月20日 1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 中部地区保健活動推進員	(目的)認知症に対する理解を促し、地域での見守りの強化 (内容)認知症や対応の仕方など分かりやすく説明、質疑応答、地域包括支援センターの相談機能、自主事業等の紹介	8月30日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
柴町de健康麻雀	(目的)介護予防に関わる住民が増え、地域の健康に関する意識が高まる。 (内容)ラジオ体操やウォーキングを取り入れながら「健康麻雀」を実施し、自主グループとして活動できるように支援する	9月23日 10月14日 10月28日 11月11日 11月25日 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちゅーりっぷコンサート	(目的)ケアプラザの役割の周知、家族で楽しめる内容で子育て支援 (内容)ファミリーコンサート	9月29日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
デイサービスボランティア交流会	(目的)デイサービスで日常のボランティア活動している方々が今後もボランティアを楽しく継続できる (内容)ボランティア活動を日頃思っていることなどを話しあい、情報交換、意見交換	11月15日 1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いきいきキッチン Caféカレーランチ	(目的)男性の料理グループの活躍の場 (内容)カレーを提供し、地域の方々との交流を図る	2月14日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大広間健康生活 座談会「地域包 括支援センター とは」	(目的)地域ケアプラザ、地域包括支援センターの機能、役 割の周知 (内容)地域ケアプラザ、地域包括支援センターについて寸 劇を交えながら、分かりやすく説明	1月28日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度「泥亀地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,725,653		14,725,653	18,921,388	△ 4,195,735	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0	0	0	
自主事業収入			0	506,440	△ 506,440	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理充当)			0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	14,725,653	0	14,725,653	19,427,828	△ 4,702,175	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,197,141		12,197,141	11,809,963	387,178	
本俸	4,536,000		4,536,000	8,253,300	△ 3,717,300	給与
社会保険料	1,120,000		1,120,000	1,069,185	50,815	社会保険料
手当計	717,528		717,528	2,270,166	△ 1,552,638	手当(超過勤務等)
健康診断費	34,000		34,000	27,406	6,594	健康診断、インフルエンザ助成金、ストレスチェック
勤労者福祉共済掛金	8,256		8,256	0	8,256	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	150,188		150,188	172,438	△ 22,250	退職共済掛金
その他	5,631,169		5,631,169	17,468	5,613,701	賞与、通勤費等
事務費	1,467,872		1,467,872	1,548,253	△ 80,381	
旅費	15,375		15,375	4,752	10,623	旅費
消耗品費	134,846		134,846	128,481	6,365	事務消耗
会議随費	0		0	0	0	無
印刷製本費	127,250		127,250	121,429	5,821	資料印刷
通信費	410,260		410,260	359,389	50,871	電話代等
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	無
その他	0		0	0	0	無
備品購入費	0		0	144,780	△ 144,780	無
図書購入費	0		0	0	0	無
施設賠償責任保険	18,052		18,052	24,674	△ 6,622	施設賠償保険
職員等研修費	10,000		10,000	213	9,787	研修費用
振込手数料	0		0	0	0	無
リース料	96,150		96,150	47,784	48,366	パソコン、車両リース
手数料	39,060		39,060	41,942	△ 2,882	為替手数料
地域協力費	0		0	0	0	無
その他	616,879		616,879	674,809	△ 57,930	システム委託、諸謝金、会議費等
事業費	620,000		620,000	677,741	△ 73,449	
運営協議会経費	20,000		20,000	4,292	15,708	予算(指定額)
指定管理料充当 事業	600,000		600,000	673,449	△ 73,449	事業経費
管理費	5,695,310		5,695,310	4,203,450	253,913	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算(指定額)
光熱水費	3,638,642		3,638,642	2,400,695	1,237,947	電気、ガス、水道
電気料金					0	
ガス料金					0	この列は入力しない
水道料金					0	
清掃費	664,117		664,117	746,121	△ 82,004	事業所内清掃
修繕費			0	0	0	予算(指定額)
機械整備費	80,872		80,872	89,933	△ 9,061	整備
設備保全費	758,208		758,208	713,368	44,840	
空調衛生設備保守	122,476		122,476	154,321	△ 31,845	空調設備
消防設備保守	81,369		81,369	102,527	△ 21,158	消防保守
電気設備保守	17,568		17,568	31,075	△ 13,507	電気保守
害虫駆除清掃保守	22,103		22,103	24,834	△ 2,731	害虫清掃
駐車場設備保全費	39,500		39,500	47,893	△ 8,393	駐車場保
その他保全費	475,192		475,192	352,718	122,474	その全費
共益費	0		0	0	0	無
その他	553,471		553,471	253,333	300,138	無
公相公課	1,200,000	0	1,200,000	944,797	255,203	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	1,200,000		1,200,000	944,797	255,203	消費税
印紙税					0	この列は入力しない
その他()					0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分					0	この列は入力しない
当該施設分					0	この列は入力しない
二一三対応費					0	この列は入力しない
支出合計	21,180,323	0	21,180,323	19,184,204	2,446,119	
差引	△ 6,454,670	0	△ 6,454,670	243,624	△ 5,444,639	

自主事業費収入	600,000		600,000	0	600,000	事業経費
自主事業費支出	600,000		600,000	0	600,000	事業経費
自主事業収支	0	0	0	0	0	=自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「泥亀地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,821,000		28,821,000	29,951,127	△1,130,127	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	150,988	12	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	4,479,419	1,309,581	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	0	0	
自主事業収入			0	9,000	△9,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理充当)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	34,761,000	0	34,761,000	34,590,534	170,466	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,324,769	0	30,324,769	26,736,342	3,588,427	
本俸	16,146,000		16,146,000	15,420,180	725,820	給与
社会保険料	3,910,000		3,910,000	3,626,547	283,453	社会保険料
手当計	3,177,684		3,177,684	7,037,337	△3,859,653	手当(超過勤務等)
健康診断費	50,200		50,200	35,021	15,179	健康診断、インフルエンザ助成金、ストレスチェック
勤労者福祉共済掛金	27,756		27,756	0	27,756	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	561,813		561,813	584,063	△22,250	退職共済掛金
その他	6,451,316		6,451,316	33,194	6,418,122	賞与、通勤費等
事務費	1,299,067	0	1,299,067	1,487,579	△188,512	
旅費	22,125		22,125	22,628	△503	旅費
消耗品費	83,846		83,846	75,719	8,127	事務消耗
会議贈り費	0		0	0	0	無
印刷製本費	97,250		97,250	80,554	16,696	資料印刷
通信費	280,260		280,260	222,893	57,367	電話代等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	無
横浜市への支払分	0		0	0	0	無
その他	0		0	0	0	無
備品購入費	0		0	194,160	△194,160	無
図書購入費	0		0	0	0	無
施設賠償責任保険	18,052		18,052	24,674	△6,622	施設賠償保険
職員等研修費	17,000		17,000	20,873	△3,873	研修費用
振込手数料	0		0	0	0	無
リース料	201,839		201,839	47,784	154,055	パソコン、車両リース
手数料	39,060		39,060	41,942	△2,882	為替手数料
地域協力費	0		0	0	0	無
その他	539,635		539,635	756,352	△216,717	システム委託、諸謝金、会議費等
事業費	1,136,620	0	1,136,620	5,184,500	△4,047,880	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	46,620		46,620	50,093	△3,473	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	150,988	12	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	4,479,419	△4,170,419	予算:指定額
管理費	1,717,747	0	1,717,747	1,117,356	600,391	
建築物・建築設備点検	52,595		52,595	67,336	△14,741	予算:指定額
光熱水費	967,233	0	967,233	638,159	329,074	電気、ガス、水道
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	175,398		175,398	198,335	△22,937	事業所内清掃
修繕費	300,000		300,000	300,000	0	予算:指定額
機械警備費	20,081		20,081	23,905	△3,824	警備
設備保全費	202,440	0	202,440	189,621	12,819	
空調衛生設備保守	32,557		32,557	41,022	△8,465	空調設備
消防設備保守	21,629		21,629	27,253	△5,624	消防保守
電気設備保守	4,670		4,670	8,260	△3,590	電気保守
害虫駆除清掃保守	5,837		5,837	6,601	△764	害虫清掃
駐車場設備保全費	10,500		10,500	12,731	△2,231	駐車場備保
その他保全費	127,247		127,247	93,754	33,493	その全費
共益費	0		0	0	0	無
その他	0		0	0	0	無
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一対対応費			0	0	0	
支出合計	34,478,203	0	34,478,203	34,525,777	△47,574	
差引	282,797	0	282,797	64,757	218,040	

自主事業費収入	9,000					講座収入
自主事業費支出	0					無
自主事業収支	9,000			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				12,731		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				△12,731		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 泥亀地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	17643	18386	-743	20039	18832	1207	127138	118846	8292	7145	5626	1519
	その他	204	0	204	0	593	-593	150	388	-238	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	204		204			0	150	388	-238			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	認定調査委託料			0		593	-593			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
収入合計(A)		17847	18386	-539	20039	19425	614	127288	119234	8054	7145	5626	1519
支出	人件費	4576	5017	-441	18307	15199	3108	92139	84059	8080			0
	事務費	9205	10365	-1160	1871	1801	70	8280	7997	283			0
	事業費	0	0	0	0	60	-60	8941	8901	40			0
	管理費	0	0	0			0	6845	7564	-719			0
	その他	0	0	0	0	0	0	130	319	-189	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0	130	44	86			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
			0			0			0			0	
			0			0			275	-275			0
支出合計(B)		13781	15382	-1601	20178	17060	3118	116335	108840	7495	0	0	0
収支 (A) - (B)		4066	3004	1062	-139	2365	-2504	10953	10394	559	7145	5626	1519

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。